

自然感

# くすのき

yumi



## 季節感

掬花は ねじれて咲いて  
素直なり 志解樹  
螺旋をなしつつ咲く、10～  
20cm 程のピンクの愛らしい  
蘭の仲間で、芝生の中に咲く事  
も多い... 『ネジバナ』  
平成20年7月1日  
福岡市中央区福浜団地  
大塚俊樹



## 熊海居人独言

# 28

先月号で、福岡の梅雨入りは6月10日であったことを書いたが、福岡管区気象台は7月6日に北部九州は梅雨明けしたと見られると発表した。今年の梅雨は27日間で非常に短く、梅雨明けも観測史上3番目に速い。例年は梅雨が明けるとしばらくは夕立が降るが、今年は今日(10日)まで晴天が続いている。7～8日は秋空を思わせるような晴天であった。「夕立3日」という表現があるが、夏の天気は4日晴れが続くとその後3日は夕立があることを言っている。これは、太平洋高気圧(熱帯性)と大陸から移動してくる寒気を伴う気団が周期的に勢力争いをすることによる。

しかし、今年は今のところ、北からの高気圧の勢力が意外に強く、例年は太平洋高気圧が勢力を張る日本の西南部の太平洋上が何となく低圧部となっている。このため、九州地方までは梅雨明け、連日晴天となっているが、日本の中部以北では暖気と寒気がせめぎ合い連日各地で大雨を降らせている。このような天気の状態は、地球温暖化による異常気象と直接結びつくかどうか今のところ判らないが、クマとしては目が離せない。

地球温暖化の影響は、今のところ極地方に顕著に表れている。北極海の氷原は、衛星写真で10年前と比較すると、明らかに縮小傾向にある。また、氷の温度が高くなり厚さも薄くなって割れやすくなっているようである。北極海周辺の陸の氷河も明らかに後退しているようである。クマが15年前に歩いたウオシントン氷河もかなり後退している。この氷河はアラスカ南部の港町バルディズの郊外にあり、高速4号線(リチャードソン・ハイウェイ)の沿線まで下っていた氷河である。グリーンランドでも陸氷の後退が著しいようである。表面温度が上がって氷が溶け出し、一部ではあるが氷が氷床に浸透して氷床底から陸氷全体が滑り出す様子が確認されている。

「異常気象と地球温暖化」、この先どうなっていくか。クマの最も大きな心配の種である。



## 事務局からのお知らせ

この、NAIS福岡会報『自然感くすのき』は、NAIS福岡ホームページにも毎号掲載しています。  
(<http://www.kurabird.com/> (自然案内舎(有)クラブドHP)のトップページ下方にある、「福岡県自然観察指導員連絡協議会」からお入り下さい。)

現在、この会報は、全会員に郵送しておりますが、もし、「ホームページの方で見るので、郵送分は必要が無い」という方がいらっしゃいましたら、事務局までお知らせ下さい(連絡先は、会報奥付をご覧ください)。順次対応させていただきます。

なお、この場合、郵送費用はホームページ維持費に充てますので、ご了承下さい。

**お願い** 会報をホームページで見る環境をお持ちの会員は手をあげて下さい。経費節減のためです。宜しくお願いします。

## 報告 その1 小笹小学校5年生の自然観察会(2008年6月26日)

下見は6/24の午前中実施

報告 つるた自然塾 (^o^)/" 鶴田義明

今日はおつかれさまでした。

私が案内したグループは、鴻巣山植物系グループ(第1班18名、第2班18名)です。

観察できた主な内容と助言は次の通りです。

### 危険な動植物の紹介

自然の中には、不思議なものや楽しい発見もいっぱいあるが、危険なものもあることをしっかり頭に入れて安全の確保には充分注意する必要があることを先ず認識してもらう。(鴻巣山グループ全員に対して)

林縁(クズ、アカメガシワ、イヌビワ、ネムノキ、キカラスウリ、ハゼノキ、ニワトコなど)と森の中の植物群落の違いを観察。

### 植物と光(太陽)について

植物の器官(根、茎、葉)を観察しながら、「植物は何を食べて生きているのか」を考える。 光合成について  
鴻巣山の樹木を観察しながら、マテバシイ、スダジイなどに代表される暖温帯の常緑広葉樹林で主に構成されていること。  
また自然林(二次林)は、シダなどの草本類、ミミズバイ、ヤツデ、カクレミノ、などの低木類、それに亜高木(ヤブニッケイなど)、高木類(マテバシイ、スダジイ、コナラなど)の四階建てになり、各々がうまく太陽の光を奪い合って必死で生きていること。

萌芽更新を観察し、昔から里山として人の生活と関係が深かったこと。(薪や炭)

いろいろなキノコや子のう菌類、及び土壌生物(トビムシ、ハサミムシ、ツチグモ、ダンゴムシ、ナガコムシなど)を観察し、その役割について考える。

### 分解者 落葉の行方 物質循環について

最後は「森林(樹木)がこの地球にとって如何に大切なものであるか」をまとめとする。

- \* 生きものの生態系(住処と食糧)として
- \* 緑のダム(団粒状構造)として
- \* 炭素の貯蔵庫(温暖化防止)として など

その他は、ヨモギ、ドクダミ、ヤマノイモ、ツワブキなどを匂ったり、食べたりしながら(第2班)最初から盛り上がっていました。またヤブムラサキ、シロダモの幼葉、老木のカラスザンショウの樹皮を皆で触ったり、ザトウムシを見ついたり(自然度が高いことを認識) 短い時間でしが五感を使って子どもたちがとても熱心で楽しそうに観察している様子が印象的でした。子どもたちは、次々に発見しては「これなあに?」と質問も多く観察力はすごいですね。

伝えたいことが充分伝わったかどうか、焦点が絞りきれずにやっぱり時間にゆとりがなかったのが実感です。

これを機会に、子どもたちが益々自然に関心を深め自分の課題を追求するきっかけになれば幸いです。

サポートして頂いた明石先生、實松先生どうもありがとうございました。

(観察できた植物名などは詳しく伝えていませんので、フォローがし易いようにここでは記しておきました。)

## ~・~・三国丘陵の自然を楽しむ会の発行物のお知らせ~・~・~

DVD「新九州歴史資料館のまわりを歩こうよ!」ができました。小さくて薄い冊子なのに、内容が充実していることで評判となっている三国の冊子です。この冊子に準じて作られた50分のDVDです。冊子の写真では小さくてわからないところも、パソコンの画面で大きくしてみることができます。また、観察風景や生物の動画も加わりました。

一般価格 2000円 (会員価格 1000円)

尚、このDVDを購入された方には、冊子を1冊お付けします。

学校教育の場で、地域の子供会の集まりで、もちろん個人でも何でもお楽しみいただけます。この機会にいかがですか?

お問い合わせは [mikuni@room312.com](mailto:mikuni@room312.com) まで。追って担当者よりメールを差し上げます。



**日本野鳥の会福岡支部 主催**

参加費：100円（中学生以下無料）

7/20（日）8/17（日）  
天拝山探鳥会（筑紫野市）  
時間：9:00～12:00  
集合：天拝山歴史自然公園  
問合せ：092-920-7112（山本勝）

7/26（土）8/23（土）  
久末ダム探鳥会（福岡町）  
時間：8:00～11:00  
集合：久末ダム多目的広場横駐  
車場（管理事務所下）  
問合せ：0940-33-7846（高原和幸）

8/3（日）  
今津探鳥会（福岡市西区）  
時間：9:00～12:00  
集合：玄洋高校西側道路  
問合せ：092-891-9005（神園道男）

8/9（土）  
大濠公園探鳥会（福岡市中央区）  
時間：9:00～12:00  
集合：ポート乗り場前  
092-573-1827（森健児）

8/10（日）  
和白海岸探鳥会（福岡市東区）  
時間：9:00～12:00  
集合：JR 和白駅前公園  
問合せ：092-606-0012（山本廣子）



**日本野鳥の会筑後支部 主催**

参加費：100円（中学生以下無料）

花立山、高良山、濃施山公園の探鳥会は  
7月と8月はお休みです。



**福岡植物友の会 主催**

7/13（日）  
猪野（久山町）  
ネイチャウオッチング公開予備調査  
詳細は：092-947-6536（大吉博子）

**三国丘陵の自然を楽しむ会 主催**

<http://mikunikyuryo.blog107.fc2.com/>

8/2（日）  
夜の観察会  
時間：19:00～21時30頃  
集合：埋蔵文化財調査センター  
問合せ：092-920-3072（松永）  
要 保険料

要：保険料  
エフコープさんの環境助成金で自然  
観察冊子ができあがりました。冊子は  
観察会のたびに配布します。欲しい方  
は観察会にご参加ください。



**和白干潟を守る会 主催**

7/26（土）  
守る会定例会議  
時間：10:30～12:30  
集合：和白干潟を守る会事務所  
問合せ：092-606-0012（山本弘子）

7/26（土）  
クリーン作戦 と自然観察会  
時間：15:00～17:00  
集合：海の広場 駐車場なし  
長靴・軍手があると便利  
問合せ：092-661-1594（田辺スミ子）

**久留米の自然を守る会 主催**

7/20（日） 第360回例会  
水辺の自然観察会と魚ウッチング  
筑後川発見館くるめウス前、さくら  
橋下の水生生物、河川敷の植物や昆  
虫などの観察を行います。  
時間：9:30～12:30  
参加費：無料  
持ち物：観察用具、長靴、ゴムぞう  
りなど。ぬれた場合の着替えなど  
問合せ：0942-46-8622（古賀）



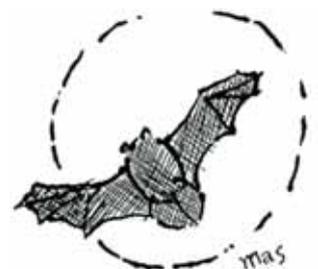
**福岡市油山自然観察の森 主催**

往復ハガキでの申込方法はハガキに「行事名・行事実施日・住所・氏名・年齢・  
電話番号」を記入の上、自然観察センターまでお送り下さい。

7/20（日）  
緑の森、自然かんさつハイキング  
渓流沿いや森に棲む生きもののよ  
うすを観察しながら、のんびり散策  
します。  
時間：10:00～13:00（9時30分よ  
り受付）  
対象：一般  
申込み：不要  
定員：なし  
雨天実施

7/19（土）、26（土）、27（日）  
親子で発見！夜の昆虫ウオッチング  
セミの羽化や眠っている昆虫など、夜  
の森の昆虫たちを観察します。  
時間：10:00～13:00  
対象：小学生と保護者  
申込み：往復はがき  
7/10（土）分必着  
7/12（日）分必着  
定員：30

問合せ：油山自然観察センター  
参加費：100円  
〒811-1355  
福岡市南区松原夫婦石 855-1  
TEL：092-871-2112  
開館 9:00～16:30（月曜休館）



# ナイス福岡 2008年度定例総会報告



## 福岡県自然観察指導員連絡協議会 2008年度定例総会

開催日：2008年6月22日(日)

場所：海の中道海浜公園 / 森の家

### その1. 森の家周辺で自然観察会 10時から12時まで 参加者15名

梅雨の季節、この時季当たり前だけれどキノコの観察で盛り上がった。吉国さんご苦労様でした。

また、地面のワカメと言われるランソウ類に注目が集まりました。イシクラゲと言うそうですが、今後の観察会に大変役立つネタを含んでいることが分かりました。小さな池ではウシガエルの卵塊もネタに。あっという間の時間でした。

### その2. 定例総会(13時から15時半まで)を森の家レクチャールームで開催

出席者 18名 / 欠席の連絡は委任状を含め10名

小野仁 事務局長の司会進行で進めました。

#### 1) 冷昌彦川代表の挨拶

この公園の経歴の話と共に、この公園を活用して自然観察会ができたらの願いを込めて、今回この場所で総会を企画した。

#### 2) 2007年(2007年6月~2008年5月) 活動報告

2007年

- 6月22日 小笹小学校5年生自然観察会 8名協力
- 6月23日 総会開催前に鎮守の森シリーズ・西公園観察会(福岡市中央区) 18名参加
- 6月30日 簡保レクセンター跡 三国丘陵の自然観察会 4名参加
- 7月28日 簡保レクセンター跡 三国丘陵の自然観察会 5名参加
- 8月25日 簡保レクセンター跡地 三国丘陵の自然観察会 4名参加
- 9月30日 簡保レクセンター跡地 三国丘陵の自然観察会 3名参加
- 10月11・12日 小笹小学校5年生背振自然教室 8名協力
- 10月27日 簡保レクセンター跡地 三国丘陵の自然観察会 4名参加
- 10月27・28日 環境フェスティバルふくおか2007参加 2日間でのべ25名参加
- 11月3日 鎮守の森シリーズ・桜井神社観察会(糸島郡志摩町) 14名参加
- 11月14日 若久小学校5年生篠栗自然観察会 10名協力
- 11月24日 簡保レクセンター跡地 三国丘陵の自然観察会 9名参加
- 12月8日 鎮守の森シリーズ・西公園光雲神社観察会 10名参加
- 12月8・9日 2007年度九州自然協議会(熊本県水俣市にて)
- 12月22日 簡保レクセンター跡地(外から観察) 三国丘陵の自然観察会 5名



2008年

- 2月15日 三国丘陵の自然観察会 里山を歩こう 簡保レクセンター跡地(外から観察)2名
- 3月29日 三国丘陵の自然観察会 田畑の観察会 5名
- 4月27日 海ノ中道海浜公園観察会 7名参加
- ・「新九州歴史資料館のまわりを歩こうよ」の編集 14名協力
- ・その他、瓜生さんを中心に数名の会員達「青葉公園のパークネイチャークラブ」が1年間7回活動
- ・**5月22日は、「国際生物多様性の日」です。**

その他関連

- \* 『自然感 くすのき』のシリーズについて、始まり! 終わり! 続いて! います。こげんなことしよります! 熊洞居人独言
- ワンポイント photo 季節感 これは何だろう! ?
- ちょっと気になるこんな記事! 曽根干潟のカブトガニのお話(國廣勝)

#### 3) 《2008年(2008年6月~2009年5月) 活動計画》予定

- \* 三国丘陵の自然を楽しむ会、簡保レクセンター跡地の民間活用ゾーンの募集をしないことの要望書を福岡県総務部、環境部に提出(6月18日)

九州歴史資料館建設地周辺での観察会 三国丘陵の自然を楽しむ会に協力

\* 鎮守の森観察会の継続

例えば 福岡市早良区の梅林八幡や西南の杜湖畔公園で観察会。

\* 九州歴史資料館建設地周辺での観察会 『三国丘陵の自然を楽しむ会』に協力

\* 2008年青葉パークネイチャークラブの観察会など(瓜生顕一郎他)

\* 身近なフィールド観察会(代表 吉国さん)が9月に今宿野外活動センターで観察会予定。

\* 環境フェスティバルふくおか2008〔10/25(土)・10/26(日)〕 協力予定

\* 筑豊中南部の自然を訪ねよう(冊子の活用)

\* 海の中道海浜公園での観察会協力予定

\* ナイス福岡のホームページ掲示板の活用



『鎮守の森と自然』や『自然と遊ぼう!学ぼう!』などの観察会は継続して実施したいと思います。

この場所で実施したいという候補地を挙げて下さい。みんなで協力して実施しましょう!

その他、自然観察を楽しみたい場所があれば、提案して下さい。

自由な方法で、そして、みんなで楽しみ、自然保護を考えていきたいと思ひます。

毎月1回『第2金曜日の夜』は、定例会で会報発送と情報交換を!

#### 4) 2007年度会計報告、2008年度予算案

会計の宮原氏から報告。堀謙治氏から鑑査の結果、適正に処理されているとの連絡を受けているとのことでした。拍手で承認された。

#### 5) 事務局体制

役員》

代表: 冷川昌彦 事務局長: 小野仁 事務局: 吉國正郎、藤川渡、田中健二、吉田素子

編集: 田村耕作、山本勝、松永紀代子、吉田素子

会計: 宮原俊彦 監査: 堀謙治

役員》監査に新たに1名が加わりました。

代表: 冷川昌彦 事務局長: 小野仁 事務局: 吉國正郎、藤川渡、田中健二、吉田素子

編集: 田村耕作、山本勝、松永紀代子、吉田素子

会計: 宮原俊彦 監査: 堀謙治、辛島真由美



#### 6) その他のお知らせ

『H20年度エコインストラクター人材育成研修』の受講生募集のお知らせ

会員からの連絡事項 : 背振山系の道標の話し/救急の話し(事故の例)

#### 7) 話題提供

小野事務局長から『インタープリテーションについて』という当を得た話題が資料とともに提供された。インタープリテーションとは、その目的、展開するプログラムについてなど、指導員の参考となる内容でした。

~観察会の様子~



~総会の様子~



2007年決算報告(2007年6月1日から2008年5月末)

(収入)

(単位:円)

項目	予算 (a)	決算 (b)	差 (b-a)	備考
繰越金	123,214	123,214	0	
会費	220,000	244,000	24,000	会員数110名(総会時46千円、郵便振替198千円)
その他	786	3,526	2,740	利息226円、寄付金等(物品寄付3千円、観察会300円)
合計	344,000	370,740	26,740	

(支出)

単位:円

項目	予算 (a)	決算 (b)	差 (b-a)	備考
総会運営	10,000	0	10,000	
研修会費	40,000	0	40,000	
会報発送	190,000	173,970	16,030	切手代105,800円 コピー代64,450円 封筒代3,720円
事務局費	60,000	51,170	8,830	事務局定額経費12ヶ月*3千円 ホームページ作製管理1万円、ゴム印4,970円 駐車場代200円
予備費	44,000	0	44,000	
合計	344,000	225,140	118,860	

収入額-支出額=次年度繰越金

370,740 - 225,140 = 145,600  
 145,600 円は次年度繰越金  
 (積立金) 300,000 円

会計監査報告

会計報告をいたします。支払い伝票はよく整理され、支出項目も適正に処理されていました。金額の不備もありませんでした。謹んで報告いたします。



2008年6月19日

堀 謙治

2008年予算案(2008年6月1日から2009年5月末)

(収入)

(単位:円)

項目	本年予算 (a)	昨年 (b)	差 (a-b)	備考
繰越金	145,600	123,214	22,386	
会費	220,000	220,000	0	
その他	400	786	-386	
合計	366,000	344,000	22,000	

(支出)

項目	本年予算 (a)	昨年 (b)	差 (a-b)	備考
総会運営	10,000	10,000	0	
研修会費	40,000	40,000	0	
会報発送	190,000	190,000	0	
事務局費	60,000	60,000	0	事務局定額経費12ヶ月*3千円 ホームページ作製管理
予備費	66,000	44,000	22,000	
合計	366,000	344,000	22,000	

(積立金)

300,000 円

## 第5回 「総合的な学習の時間」と「曾根干潟のカブトガニの産卵を中心とした生活」

國廣 勝

### (9) 【貫川河口で日中、砂煙をあげて産卵する様子】

貫川河口の産卵場所は、砂州が緩やかな傾斜で広く、特に風などが強くなければひき潮時には波が静かになり、完全に潮がひいてしまわない限り、少々甲羅が出てきてもしばらく産卵を続けます。

そんな時不思議なことは、つがい後ろの雄の剣尾の両脇から、微細な砂煙を含んだ水流を、間欠的に吹き出しているのが観られます。見た感じでは雌か雄かどちらか、或いは一緒に鮭脚で勢いよくお腹の下の水を、後方に送り出しているようです。何をしているのでしょうか、理由を幾つか考えてみました。

産卵中、酸素を多く含んだ水を前から取り込むため、卵塊周囲の微細粒子を飛ばし砂粒間隙を保つことにより、卵の成長に余裕をあたえ、満潮の浸水時に新鮮な水の通りを良くするため等、工夫しているのかも知れません。それらの「仮説」は産卵後二十日位して、発生の進んだ卵の周辺の砂の状態を観察してみて、その様子からもそう思えるのです。昼間の産卵はそんなところを見るのには、子ども達にとって絶好な機会ではないでしょうか。



### (10) 【朽網川河口産卵場、最高潮位で日中折り重なって産卵】

こここのところ四、五年は異常と思えるほど急激に産卵つがい数が増えてきましたが、多少のずれはあっても例年七月から八月にかけての大潮の満月には、大挙してつがいを訪れるので、狭い朽網川河口の砂浜は大混雑をきたします。

こんな場面はどうしても人間的な感情の目で見てしまいがちですが、砂浜の傾斜度がきつくて狭く、つがいは打ち寄せられる波にもまれて折り重なって産卵場所の奪い合いが始まります。何かにせかされているようにさえ見えます。



### (11) 【朽網川河口の産卵最盛期、水面は精子で白濁】

海面は雄の放精のためか泡立って緑がかった白濁の水面になり、他のつがいが産卵したその上からまた産卵が始まる始末。打ち寄せる波と重なって十五、六センチの深さに産み込まれたくらいの卵は、掘り返されて波打ち際に打ち寄せられます。中には回転卵にまで発生の進んだ卵も見られます、そんな時にはどこか適当なところに埋めてやりたくなりますが、自然に任せるより手がありません。鳥や魚の餌として多少は犠牲になっても、後は海の中でも孵化していくのでしょうか、さもなければ朽網川河口での産卵孵化率はとても効率の低いものになってしまいそうです。



### (12) 【貫川河口で産卵を終えて沖へ帰るつがい】

朽網に比べて静かな産卵風景が見られますが、引き潮で体が全部露出すると、あの体でつながって砂の上を這うのは大変な力が必要です。体が半分くらい水に浸かると、滑るように早いスピードで沖に引き返します。雌は頭が半分くらい潜って産卵に夢中です。潮がひき始め、体が露出しはじめると、時々面白い光景が見られます。後ろから雄が小刻みに雌の後を押し始めるのです、その様子は私達人間から見ると、あたかも、「おい、潮が引くぞ。さあ帰ろう、帰ろう」と雄が促している様に見えるのです。すると雌は半分砂を冠った頭を「むっくり」と持ち上げ沖の方へ方向転換して帰り始めます。なんとも微笑ましい行動をみせてくれます。



これは何だろう!?



前回の回答  
問題の写真が少し薄くて、  
皆様にはわかりにくかったと思います。  
ごめんなさい。  
改めて写真をお出します。  
これは「クスノキ」の花でした。



これはなんだかわかりますか？  
おちょぼ口ですが、何でも食べる掃除屋さんです。  
ダンゴムシの仲間ですよ。

#### 事務局からのお知らせ

インターネット掲示板に会員の皆様の書き込みをお願いします。  
ナイス福岡のアドレスはこのページの一番下に表示しています。

#### 会費振込について

それぞれの会員の皆様の会員期限をタックシール部分に明記してあります。各自ご確認の上、郵便局にて下記の郵便振替口座に振り込みをお願いいたします。なお、会計年度は6月から翌年5月末までです。

郵便振替口座：福岡県自然観察指導員連絡協議会 01760-9-15783

年会費：2000円

#### 皆に知らせたいことはありませんか？

皆さんが行っている観察会やイベントの案内、自然保護に関する情報やご意見、お薦めの本の紹介などをお寄せ下さい。原稿は定例会の一週間前までに事務局にお送り頂くとその月の会報に載せることができます。皆さん情報をお待ちしています。

#### 定例会に参加してみませんか？

本会の運営に関する打ち合わせや情報交換、会報の発送作業を原則として毎月第2金曜の18:00～20:00ごろまで自然案内舎(有)クラブ内にて行っています。

会員の方はどなたでも参加できるのでお気軽にお立ち寄り下さい。皆さんのおこしを心よりお待ちしております！

次回の定例会は、2008年7月11日(金)午後6時より事務局で行います。7月号の原稿は、6/30(月)までに届くようにお願いします。なお、原稿を掲載するに当たっては編集担当にお任せ願います。

**お願い** 会報をホームページで見る環境をお持ちの会員は手をあげて下さい。経費節減のためです。宜しくお願いします。

#### 他団体の会報の紹介

日本野鳥の会筑後支部 まめわり第86号 2008年6月1日  
自然観察指導員熊本県連絡会 自然観察 第122号(08.05.12)  
福岡植物友の会 会報 平成20年6月号 第49号

お問合せ： 福岡県自然観察指導員連絡協議会  
(NAIS Fukuoka: The Nature Interpreter Society of Fukuoka)  
代表：冷川昌彦 / 事務局長：小野 仁 /  
編集：田村耕作・山本勝・松永紀代子・吉田素子 / 会計：宮原俊彦  
〒814-0144 福岡市城南区梅林2丁目10番23号  
ハイツ中村401  
自然案内舎(有)クラブ内 TEL & FAX: 092-400-1765  
URL: <http://www.kurabird.com/>  
掲示板 URL: <http://bbs9.fc2.com/php/e.php/~naisfukuoka/>

**編集後記** 2008年5/9定例発送会は、藤川渡・山本勝・大塚俊樹・辛島真由美・田村耕作が参加。冷川昌彦・田中健二から欠席の連絡。MYから大変おいしい焼き芋の差し入れあり。このところ、車の燃料代の右肩上がりすぎ。運動を兼ねて市内の移動はなるべく自転車にしています。自転車の場合、どこでも止めやすいし止まりやすい。先日も樋井川沿いを自転車で移動していたお陰で、カワセミ、ササゴイなどが目を楽しませてくれました。田字草

